

# 令和7年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立小岩小学校

校長名 平田 鐘明

名称: 総合的な学習の時間

<b>学校の教育目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える子(確かな学力)</li> <li>・思いやりのある子(豊かな心)</li> <li>・元気な子(健やかな体)</li> </ul>
----------------	---

## 国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

## 学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通し「課題を追究する力」「表現する力」「かかわる力」を育てる。
- 2 自分で課題を発見し、進んで学び、考え、判断し、よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる。
- 3 学校における全教育活動との関連を図りながら、学び方やものの考え方を身に付けさせる。
- 4 自分の思いや考えを大切に、友達と協力しながら問題の解決や探究活動に取り組む態度を育てる。
- 5 学習を通して、自己の生き方について考えられるようにする。

## 育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域、環境と自分とのかかわりを考える。</li> <li>・様々な社会の様子を知り、自分とのかかわりを考える。</li> <li>・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な歴史や自然、環境、世界と自分とのかかわりを考え、生活に生かす。</li> <li>・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用を知る。</li> </ul>
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を選択し、設定する。</li> <li>・解決の方法や手順を考える。</li> <li>・学校図書館を活用するなどしながら情報を収集し、活用する。</li> <li>・調べたことを相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、発表する。</li> <li>・学習を振り返り、自分や友達とのよさや課題に気付く。</li> <li>・情報活用基礎となる情報手段の特性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を発見し、設定する。</li> <li>・これまでの経験を生かし解決の手順や方法を考える。</li> <li>・必要な情報を選択し、分析する。</li> <li>・学校図書館を活用するなどしながら調べたことを相手や目的に応じて効果的にまとめ、自分の考えを明らかにしながら発表する。</li> <li>・振り返りで気付いたよさや課題を以後の学習に生かす。</li> <li>・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを理解する。</li> </ul>
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康や生活の在り方を見直し、実践する。</li> <li>・自分のこれまでを見つめ直し、これからを考える。</li> <li>・自分とちがう意見や考え方を共感的に受け入れる。</li> <li>・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響に気付き、生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々とかかわり、視野を広げ、自分の考えをもつ。</li> <li>・自分の生き方や将来について考え、夢や希望をもつ。</li> <li>・自分と友達との意見や考え方を比較しながら考え、友達と協力しながらよりよいものに発展させていく。</li> <li>・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を身に付け、応用している</li> </ul>

内容	学習対象	学習事項
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが町小岩・わたしたちのくらしと仕事</li> <li>・パソコンやタブレットの基本的な操作方法</li> <li>・昔の道具や暮らし</li> <li>・ひまわり教室について知ろう(全2時)</li> <li>・学習発表会に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の地域の特徴・特色・学校周辺の地域の仕事(商業・農業など)</li> <li>・インターネットやSNSの適切な利用法、文字入力</li> <li>・今と昔の道具や生活の仕方の変化</li> <li>・ひまわり教室について</li> <li>・テーマに沿った課題の設定、解決に向けた情報収集、まとめ、発表</li> </ul>
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康なくらし</li> <li>・自然災害からくらしを守る(地震・ハザードマップ)</li> <li>・パソコンやタブレットの基本的な操作方法</li> <li>・国際理解教育(全2時)</li> <li>・学習発表会に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活を支える仕事(水道・ごみ)</li> <li>・地域で想定される災害や災害から人々を守る活動</li> <li>・インターネットやSNSの適切な利用法、文字入力、データ保存</li> <li>・ふじ教室について、東京都の外国人について</li> <li>・テーマに沿った課題の設定、解決に向けた情報収集、まとめ、発表</li> </ul>
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンやタブレットの基本的な操作方法</li> <li>・雪国の暮らしを調べよう</li> <li>・自動車博士になろう</li> <li>・ウィンタースクール報告会をしよう</li> <li>・学習発表会に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットやSNSの適切な利用法、プログラミング操作の基礎</li> <li>・自然環境の地域間比較、環境保護への取り組み</li> <li>・調べる学習と未来の自動車を考える</li> <li>・自然環境の地域間比較、環境保護への取り組み</li> <li>・テーマに沿った課題の設定、解決に向けた情報収集、まとめ、発表</li> </ul>
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光の自然・小岩の自然</li> <li>・パソコンやタブレットの基本的な操作方法</li> <li>・夢に向かって今できること</li> <li>・世界に目を向けよう</li> <li>・学習発表会に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の地域間比較、環境保護への取り組み</li> <li>・インターネットやSNSの適切な利用法、プログラミング操作の応用</li> <li>・自分が就きたい職業と、今自分ができること</li> <li>・各国の文化や伝統と、日本とのかかわり</li> <li>・テーマに沿った課題の設定、解決に向けた情報収集、まとめ、発表</li> </ul>

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元は学年共通とし、各学年年間4・5単元程度とする。</li> <li>・課題の内容や児童の実態に応じて、各学級もしくは学年合同で学習に取り組む。</li> <li>・総合的・横断的な課題、児童の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などで単元を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題意識を高め、課題を明確にさせる工夫</li> <li>・解決方法や手順など解決への見通しをもたせる工夫</li> <li>・学校図書館を活用するなどした自ら調べ表現する活動の充実</li> <li>・体験活動、観察・実験、発表や討論などの重視</li> <li>・各教科等との関連を図った学習活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム・ティーチングによる学習展開</li> <li>・積極的な地域の人材活用</li> <li>・グループ学習や異年齢集団による学習など多様な学習形態に対応できる指導体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人内評価の重視</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>・学期末、学年末における指導計画の評価、次年度へ向けての指導計画の見直し</li> <li>・授業分析による指導内容や方法の評価</li> </ul>